

新潟大学の留学制度について

短期から長期まで、様々な留学プログラムを提供しています

新潟大学では、留学の目的や学習段階に応じて、留学の機会を幅広く提供しています。より多くの学生に国際経験の場を提供するために、海外が初めてでも参加しやすい「ショートプログラム」から、海外で各学部での専門分野を短期間学ぶ「専門分野プログラム」、さらには1学期間または2学期間の「交換留学」など、多様な留学プログラムを用意しています。



1 ショートプログラム

▶ 1週間から5週間程度

＼ まずは留学を体験してみよう！ /

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に滞在したり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活や異文化に触れることができます。

(例)

韓国サマーセミナー

オタゴ大学英語研修

西シドニー大学国際交流プログラム

オックスフォード大学スプリングセミナー

2 専門分野プログラム

▶ 1週間から数か月

＼ 海外で専門分野を学ぼう！ /

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の医療現場で臨床研修を経験したり、企業でのインターンシップを経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

(例)

スリランカでの海外研修(理学部)

ハノイ医科大学病院歯科見学(歯学部・ベトナム)

グローバル農力養成プログラム(農学部・トルコ)

G-DORM 学生交流プログラム(工学部)

こんな学生に
オススメ！

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

こんな学生に
オススメ！

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

<まずは情報収集しよう！>

学務部国際交流推進課では、留学に関連した情報を定期的に配信しています。学務情報システムやHPに掲載している情報以外の情報もお送りしています。留学に少しでも興味のある人は、是非メールマガジンに登録してください！

留学関連情報配信メールマガジン登録

(参考)

QRコードURL

<https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=0Um2W-RWfEGy6WRV8vz8rN40VbWbJFAsmLkYDjvwCpUNkLJLVDZKWU7ZUkiVQTY3MFRMRjBZRzJWMIQIQCN0PWcu&route=shorturl>

3 交換留学

▶ 1学期間または2学期間

＼ 本格的に外国語や専門分野を学ぼう！ /

世界中の大学との間で結ばれた交流協定にもとづき、海外の協定校で交換留学生として外国語や専門科目を学ぶ制度です。留学先では、現地の学生や世界各国からの留学生とともに学ぶことができます。

(例)

仁荷大学(韓国)

ロードアイランド大学(アメリカ)

ミンスター大学(ドイツ)

ナント大学(フランス)

シドニー工科大学(オーストラリア)

北京大学(中国)

こんな学生に
オススメ！

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

体験者の声

農学部 柳田 結衣 さん

2021年8月 カナダ・サマーセミナー・オンライン
2022年7月～2023年6月 シドニー工科大学

私は、2年次の7月から1年間、オーストラリアのシドニー工科大学に交換留学をしていました。留学の動機は、海外での学習や生活を通して自身の視野・価値観を広げるとともに、新たな挑戦をして成長したいと考えたからです。語学を専門に勉強しているわけではないことに加え、学部専攻プログラムのカリキュラム上、卒業も一年遅れてしまうため、留学への迷いもありましたが、自身にとってかけがえのない一年になったので、留学をして本当に良かったと感じています。

1年次には、カナダ・サマーセミナー・オンライン(コロナ禍のためオンライン実施)への参加や、留学の語学要件を満たすために、新潟大学で開講されているiSTEPやIELTS Preparationをはじめ、複数の英語科目を履修し、留学に向けて準備を進めました。2年生の7月からの1年間の交換留学では、前期に留学生用の言語文化コースで語学やプレゼンテーション、論文の読解・執筆に必要なスキルを学び、加えてIELTS対策を行うことで英語力を身につけ、後期には正規履修コースで現地の学生と共に専門分野を学びました。授業は全体として実践的であり、日本のように講義形式で知識を蓄えていくよりも、事前課題や予習をもとに、先生や学生同士で話し合いを行って実践的に理解を深めていく形式であり、グループでのプレゼンテーションや実験、インタビューなど、協働活動の場面がとて多かったです。英語で意見を交わすことには、言語面での困難もありましたが、その一つ一つの壁を乗り越えたことが、自身を成長させてくれたと感じています。また先生と学生間の距離が近いので、質問や相談がしやすく、現地の学生さんは気さくでとても親切な方が多いので、失敗を恐れずに多くのことにチャレンジできるとても良い留学の環境でした。生活面では、現地の方との生活やコミュニケーションを通し、多国籍であるオーストラリアならではの幅広い価値観や寛大な人柄などを肌で感じ、自身の考え方の幅が大きく広がりました。

新潟大学では長期の交換留学以外にも、多くの国でのショートプログラムや専門分野プログラムが用意されています。私のように、英語が元々得意ではない場合や、語学力向上が第一の目的での留学ではない場合でも、留学は、語学力以上に今後の人生の糧となるようなかけがえのないものを与えてくれるはずです。少しでも留学に興味のある方は、その好奇心と勇気がきっと自分を成長させてくれると思うので、ぜひ思い切って挑戦してみてください。

シドニー工科大学キャンパスにて